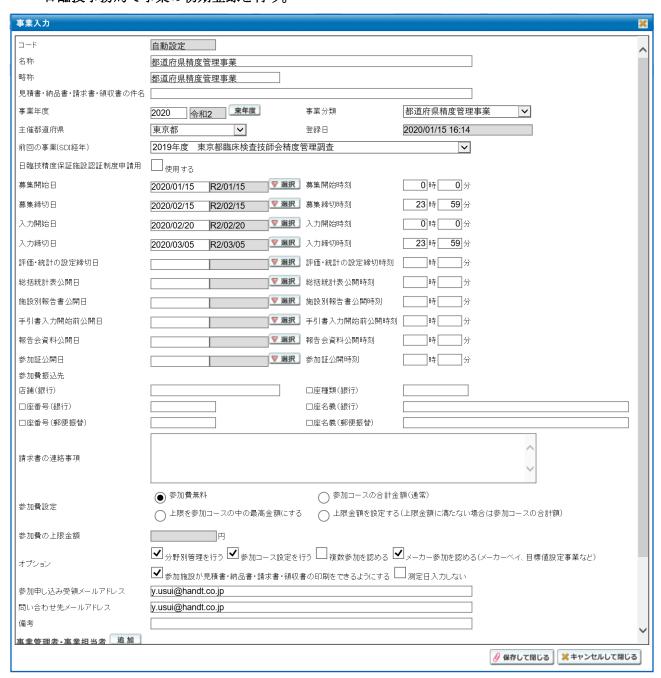
都道府県用精度管理システム 概要

- ·【前提条件】
 - ・システムの使用申請書が受領され、日臨技の承認が得られた行事
- ·【初期事業登録】
 - ・日臨技事務局で事業の初期登録を行う。



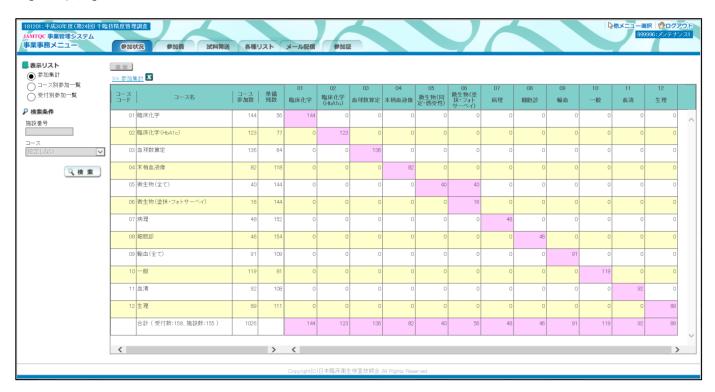
・日臨技が事業登録後、事業の詳細登録、変更、事業管理者、事業担当者の登録は、事業管理システム http://jamtqc.jamt.or.jp/JadisManagement/Account/Login.aspx から事業管理者の会員番号、PW でログインし「事業別メニュー」を選択します。





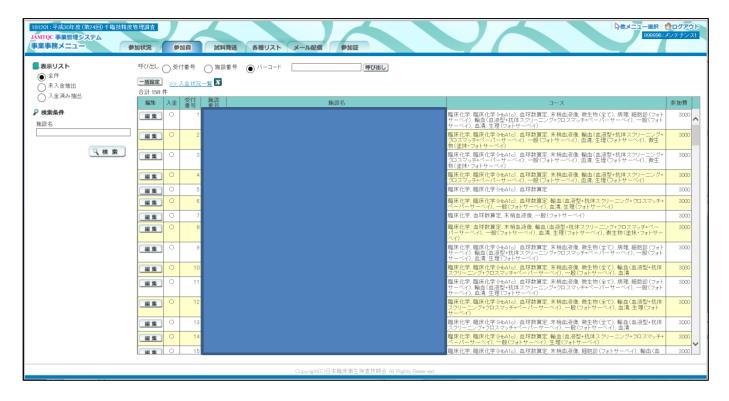
・ ▶ 事務メニュー - 事業管理者のみ実行可能

・【参加状況】



・参加状況の表示を行います。コース別参加施設一覧、受付別参加施設一覧を表示できます。

・【参加費】



・参加費の入金状況一覧、入金登録を行います。

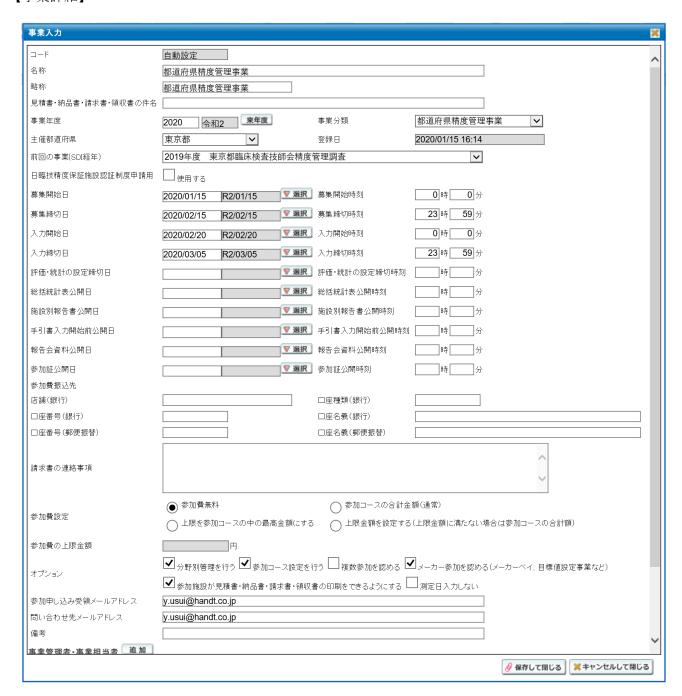
•【試料発送】



・試料発送等に使用するデータを作成します。ファイル形式とラベル形式を選択できます。

>> 管理メニュー

·【事業詳細】



・日臨技で初期登録された行事情報の詳細を登録します。 募集開始および締切日、入力開始および締切日、参加費振込口座、参加申し込み受領メール設定、 事業管理者・事業担当者等の詳細設定および変更ができます。

【継承・複写】

・前年度の検査項目、コース、コースブロック等の設定を複写して使用することができます。

•【検査項目】



・調査対象項目の設定(名称・略称等)および項目に対するガイダンスの設定を行います。

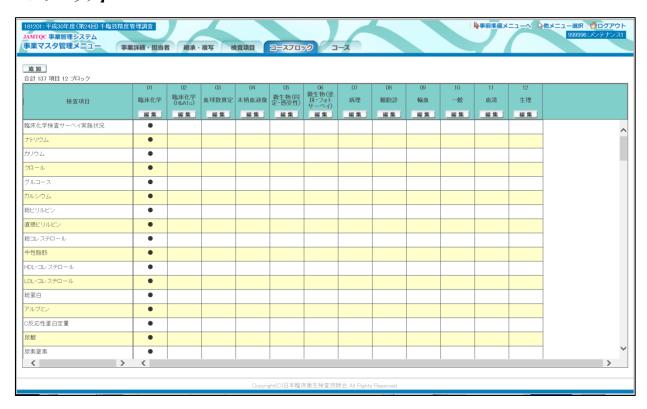


・各検査項目の主結果、(属性:試薬、機器、方法、検量等)の登録を行います。



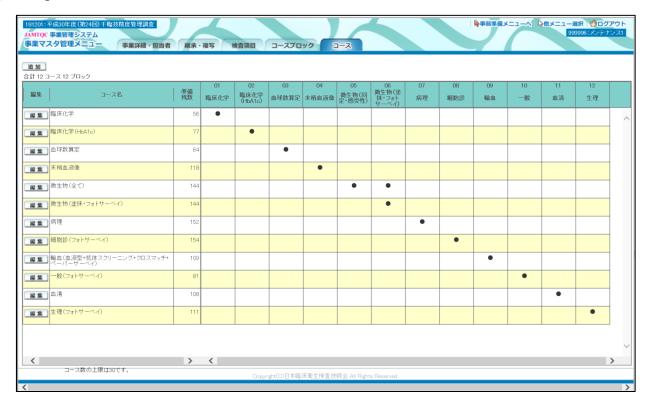
・各属性のデータ定義を行います。

・【コースブロック】



・検査項目のコース設定とコース準備数(試料準備数)を行います。

・【コース】



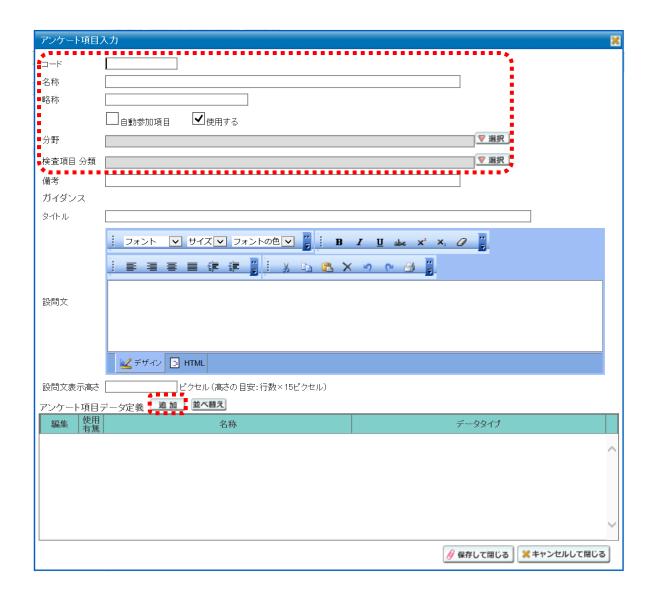
・参加コースの設定を行います。

・ >> 事前準備メニュー - 事業管理者・担当者実行可能

- •【検査項目】
 - ・管理メニューの「検査項目」と同一の画面で、担当者用の設定、変更画面です。
 - ・アンケートの設定について



・ โม่ม (アンケート項目) ボタンをクリックして新規作成します。



・コード :任意で設定できます(他の検査項目と異なるものにしてください)

・名称:任意で設定できます

・自動参加項目 : チェックを入れておくと、施設側が参加登録しなくても入力対象と

なります

・分野:対象の分野を選択してください(全施設対象のアンケートにする場

合は「99:共通アンケート」を選択してください)

・検査項目 分類 :対象の検査項目を選択してください

・アンケート項目データ定義の ��加 ボタンをクリックしてください。



・名称

- :ここに入力した文章が設問等になります
- ・データタイプ
- : 選択項目(複数選択の場合は10選択が最大です)

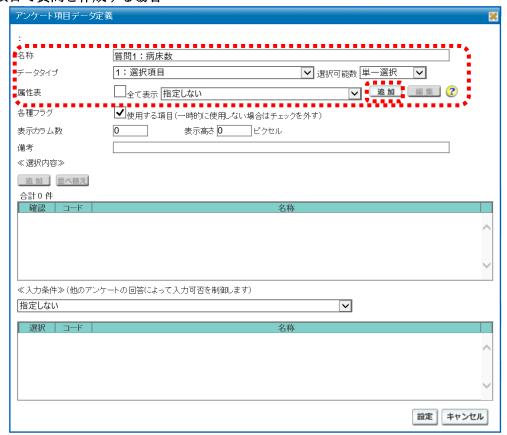
数値項目(整数部桁数、小数点以下桁数の設定が出来ます)

フリーテキスト (文字数制限の設定が出来ます)

テキスト行 (ラベル) (テキストのみ入力 ※青字固定です)

テキスト行(注意表記)(テキストのみ入力 ※赤字固定です) 区切り線(区切り線を入れるときに使用してください)

・選択項目で質問を作成する場合



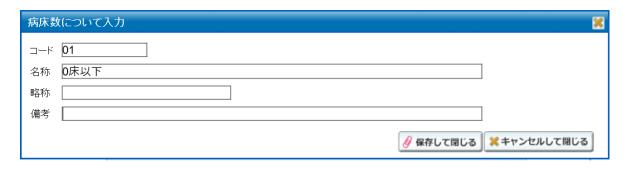
・上図の名称に設問文を入力し、データタイプから選択項目を選択してください。 選択肢を設定するのに属性表を作成します。属性表の **塩加** ボタンをクリックしてください。

属性表入力	×
コード 自動設定	
名称 病床数について ×]
略称	
備考]
❷ 保存して閉じる	**キャンセルして閉じる

・名称を入力し <a>● <a>優保存して閉じるをクリックしてください。

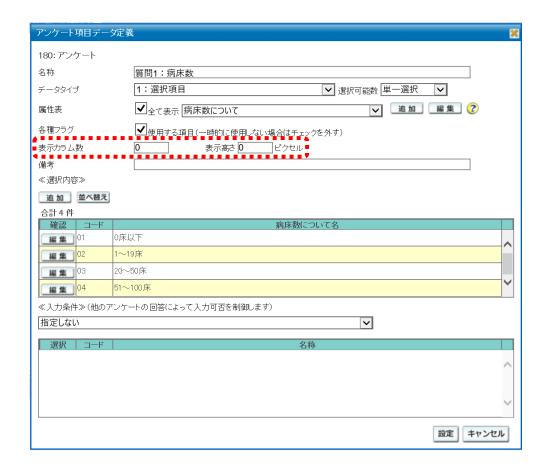
アンケート項目データ定義		×
180: アンケート		
名称	質問1:病床数	
データタイプ	1:選択項目 図択可能数 単一選択 🗸	
属性表	→ 全て表示 病床数について	
各種フラグ	▼使用する項目(一時的に使用しない場合はチェックを外す)	
表示力ラム数	0 表示高さ 0 ピクセル	
備考		
≪選択内容≫		
追加 並べ替え 合計 0 件		
確認 コード	病床数について名	
《 λ 力条件》(他のアンケ・		
指定しない	▼ V	
	名称	
	,	
	設定 キャンセル	

・選択内容の 🍱 ボタンがクリックできるようになりますので、こちらから選択肢を追加します。



・コード : 選択番号を入力してください ・名称 : 選択文を入力してください

・コード、名称を入力し● 保存して開じるをクリックしてください。

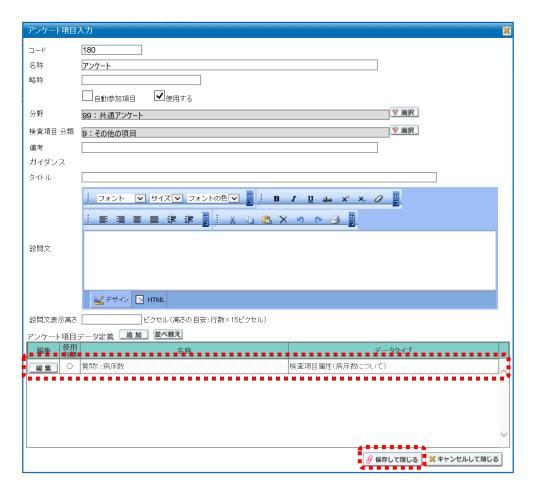


・表示カラム : 選択肢の分割設定が出来ます。0,1 の場合は一列に表示され、

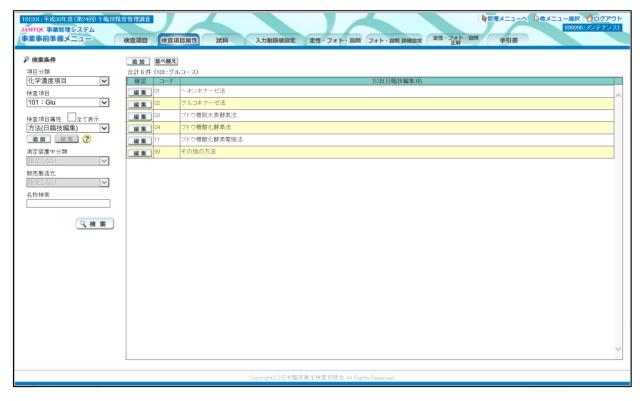
2~を入力することで分割表示されます。

表示高さ : 0 のままで自動調整されます。

・必要な選択肢を追加し歴ヹボタンをクリックしてください。

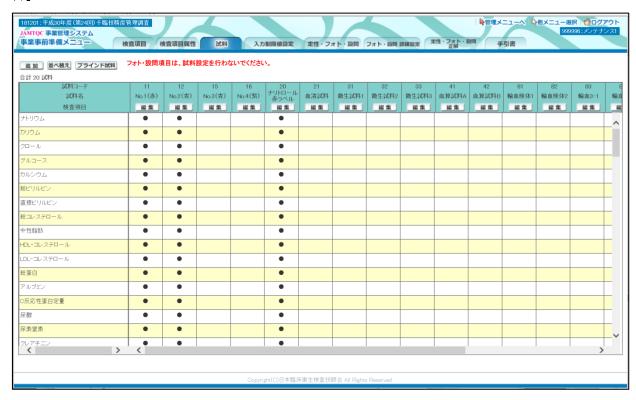


- この作業を繰り返し行い、● 保存して閉じるボタンをクリックし保存してください。
- ・アンケート作成後、回答画面に反映させるにはコースブロックに追加する必要があります。 設定後は必ずプレビュー画面にて確認をお願いします。
- •【検査項目属性】



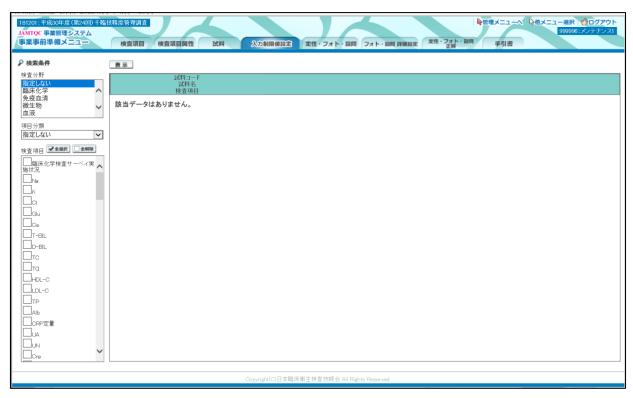
・検査項目の属性(試薬、機器、方法、検量等)や各定性・アンケート調査等の選択肢の登録を 行います。(フォトサーベイの設定は別です)

·【試料】



・試料と該当する項目の設定を行います。

•【入力制限值設定】



・各検査項目の入力値を制限することができます。



・検査項目から入力制限を行いたい項目にチェックを入れ、

・
ボタンをクリックします。

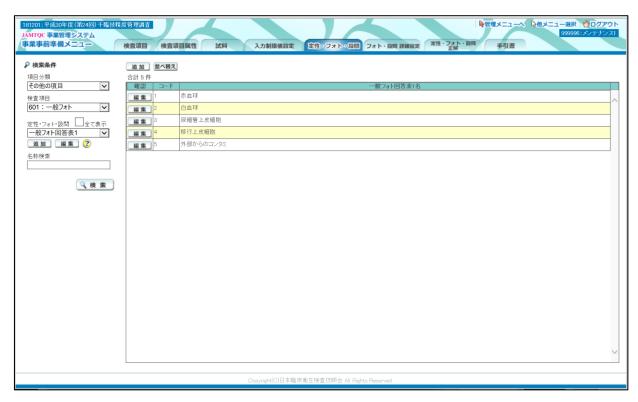


該当する試料の ボタンをクリックします。

・上記入力欄に入力制限値を入力します

例) $1\sim100$: 1から 100 までの数値が入力できる。

1~ : 1以上の数値が入力できる。 ~100 : 100以下の数値が入力できる ・【定性・フォト・設問】



・定性・フォト・設問の選択肢の設定を行えます。

・【フォト・設問 詳細設定】



フォトサーベイの一覧から詳細設定する項目を選択し ## ボタンをクリックします。



・設問文、画像、図表、選択肢を設定し、回答画面「画像イメージ」をプレビューできます。 設定時に正解が決定している場合は、正解の設定も可能です。 また、回答締切日以降に表示する設問に関する解説文の設定も可能です。

・【定性・フォト・設問 正解】

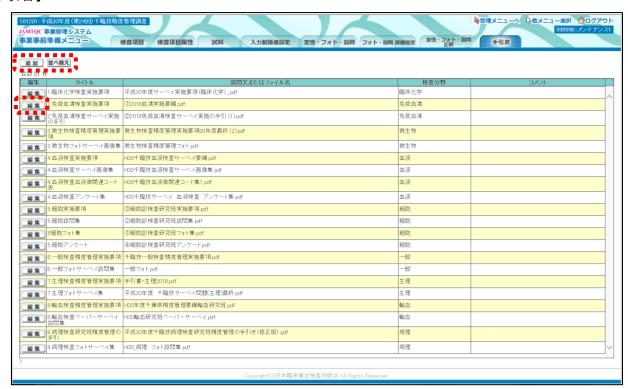


・正解を設定する項目を選択し、編集 ボタンをクリックします。

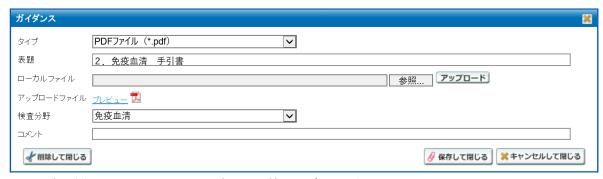


・各選択肢に、正解、許容正解、参考、不正解を設定します。

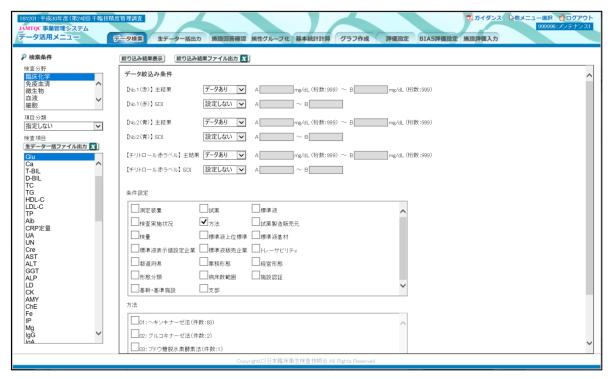
·【手引書】



- ・ 塩加 ボタンから新しく作成するか、 編集 ボタンから既存のものを修正します。
- ・ 並べ替え ボタンから掲載の順番を入れ替えることができます。
- ※ 掲載できるファイルは PDF のみとなります。



- ・タイプ、表題、ファイルのアップロード等を設定します。 設定した手引書は、参加施設向けシステムの「回答メニュー」の各回答画面に表示されます。
- ・ >> データ活用メニュー 事業管理者・担当者実行可能
 - ・【データ検索】



・データ検索の機能は、生データファイル出力、集計に影響を与えるデータの抽出および集計 対象外の設定、各属性の回答数確認等を行います。 詳細は「ガイダンス」を参照してください。

・【生データー括出力】



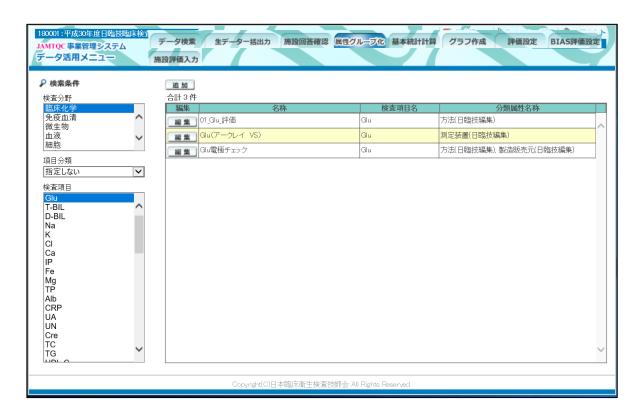
・エクセルファイルで生データの選択出力ができます。 詳細は「ガイダンス」を参照してください。

•【施設回答確認】



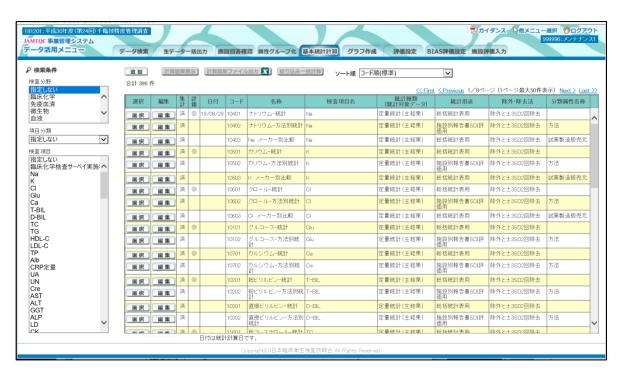
参加施設の回答を確認する画面で ■答表示 ボタンをクリックしてください。

・【属性グループ化】



・属性グループ化の機能は、機器、試薬などの属性をグループ化して統計計算に反映させます。 操作方法等の詳細は「ガイダンス」を参照してください。

·【基本統計計算】

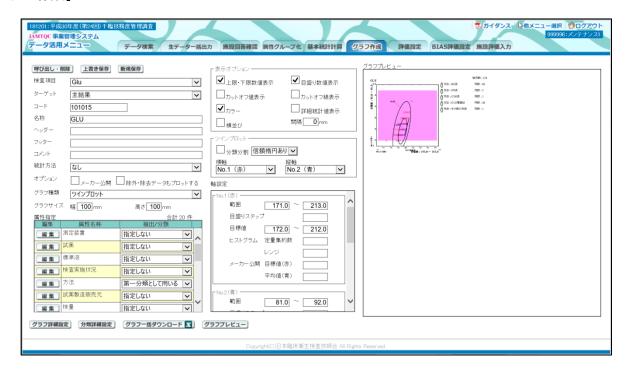


・基本統計計算の機能は、各項目の統計計算用の設定を行います。総括統計用、施設別報告書 SDI 評価 用、評価設定用、その他の分類で、使用用途を分けることができます。統計結果ファイルの作成も可能 です。

操作方法等の詳細は、「ガイダンス」を参照してください。



【グラフ作成】



・グラフ作成の機能は、基本統計計算の結果から、ヒストグラム、ツインプロット、箱ひげ、ヒストグラム+箱ひげ、定性系円グラフを作成することができます。

基本統計がない場合も、計算設定を行ってグラフの作成が可能です。

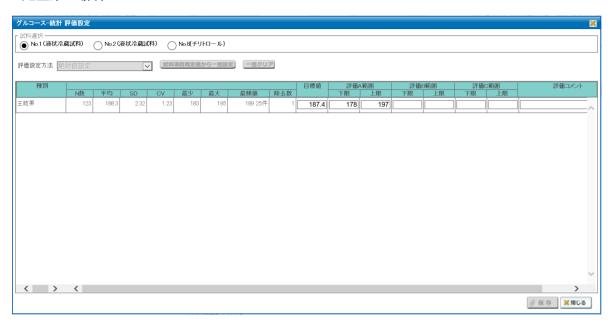
作成されたグラフをファイルに保存することもできます。

操作方法等の詳細は「ガイダンス」を参照してください。

·【評価設定】

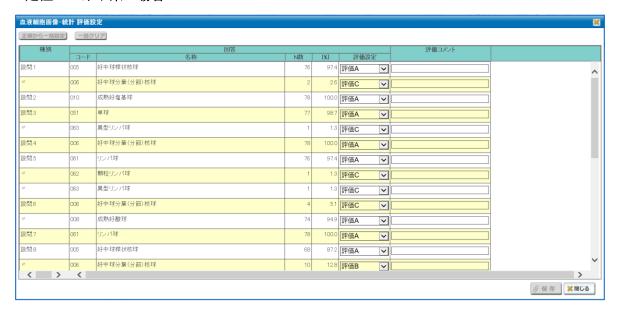


- ・評価に使用する基本統計を選択し、 編集 ボタンをクリックします。
- ・操作方法等の詳細は「ガイダンス」を参照してください。
- ・定量系の場合



- ・試料毎、属性毎に評価設定が可能です。 評価設定方法は、下記の中から選択できます。
 - ・絶対値設定
 - ・平均からの土偏差設定
 - ・平均からの±%偏差設定
 - ・平均からの±SD倍率偏差設定
 - ・目標値中心からの土偏差設定
 - ・目標値中心からの±%偏差設定
- :絶対値を範囲で設定します。
- : 平均からの±数値幅を設定します。
- : 平均からの±%幅を設定します。
- : 平均からの±SD倍率を設定します。
- :目標値中心からの±数値幅を設定します。
- :目標値中心からの±%幅を設定します。

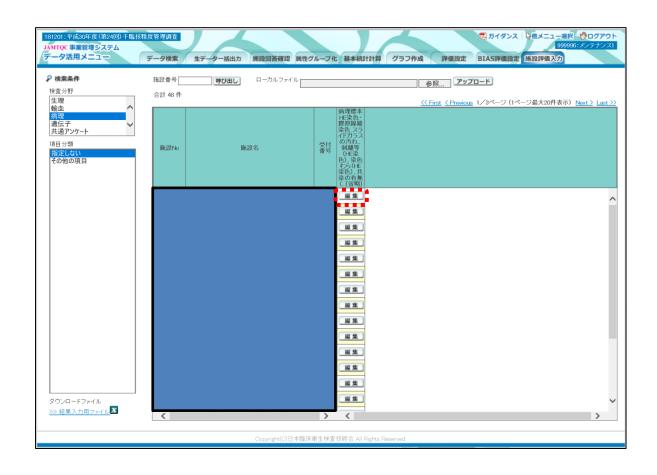
・定性・フォト系の場合



・定性・フォトの正解設定から自動で評価設定を行う場合は、<u>正解から一括設定</u>ボタンからクリックします。 評価集計結果は、<u>評価集計表示</u>、<u>評価集計ファイル出力</u> 、 <u>分野一括評価集計ファイル出力</u> で確認できます。

•【施設評価入力】

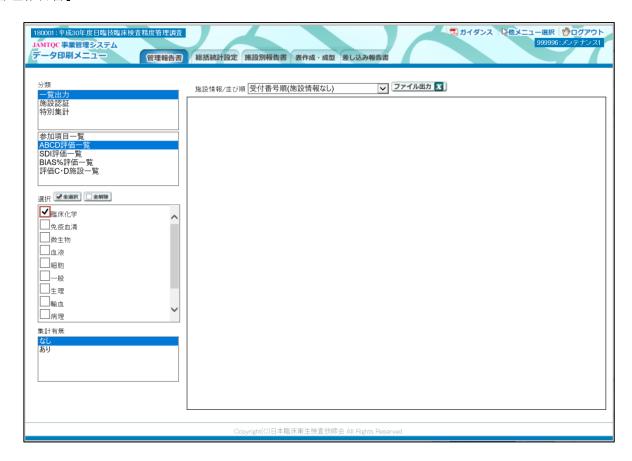
・施設評価入力の機能は病理標本などを配布し、染色状態等を担当委員が評価入力するための画面です。



・施設を選択し、評価入力する項目の 編集 ボタンをクリックします。



- ・各施設が入力した結果を確認しながら、結果を入力することができます。
- ・ >> データロ刷メニュー 一事業管理者・担当者実行可能
 - •【管理報告書】



- ・参加分野別統計、参加施設分類統計等、管理報告用の統計出力機能、全分野の生データファイルをエクセルで出力することができます。
- •【総括統計表設定】



項目を選択し、編集 ボタンをクリックします。



・総括統計表名称、出力形式、総括統計表グループを設定し、基本統計リストの **編集** ボタンを クリックします。



・基本統計で、統計用途を《総括統計表》と設定した統計リストから該当する統計を選択します。 PDFファイルはシステムで自動作成します。

•【施設別報告書】

- ・施設別報告書の機能は、施設別報告書作成の設定を行います。
- ・ 表紙の設定



・項目を選択して、
編集
ボタンをクリックします。



- ・表示の詳細な設定(フォント、フォントのサイズ等)ができます。
- 分野の報告書設定



項目を選択して、編集ボタンをクリックします。



・表示の詳細な設定(フォント、フォントサイズ等)ができます。